

2 主な整備箇所(地域版)


6 下関地域のみちづくりに関する現状と課題

求められる主な取組

- ・幹線道路の整備による**物流等の迅速化・円滑化**
- ・観光地や広域交通拠点へのアクセスの強化による**観光客の利便性の向上**
- ・都市間や拠点間の道路整備による**交流・連携の強化**
- ・バイパス整備等による**渋滞対策の推進**
- ・歩道の整備等による**交通安全対策の推進**
- ・災害時等にも機能する**広域道路ネットワークの構築**
- ・緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- ・離島架橋をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

物流の迅速化・円滑化

下関地域では、取扱量が全国一の「ふく」をはじめ、あんこう、いかなどの地域の特色を活かした水産物のブランド化による水産業の活性化が図られています。九州地域はもとより、全国各地へさらなる市場の拡大を図るため、迅速かつ円滑な物流の確保が必要です。




広域交通拠点へのアクセス



【角島大橋】
角島大橋は、北長門海岸国定公園内の自然と一体となった美しい景観から、県を代表する観光スポットとなっています。しかしながら、高速道路インターチェンジからのアクセスに支障があることから、観光客の利便性の向上を図るためにも、広域交通拠点へのアクセスの強化が求められています。

県境を越えた都市間の交流・連携

関門海峡という共通の財産を持つ下関市と北九州市は、古くから密接な関係を持ちながら一体的な都市圏・経済圏を形成してきました。また、平成29年4月には、両市に点在する42点もの文化財が「関門ノスタルジック海峡」として日本遺産に登録されました。クルーズ船寄港時には、こうした観光地を巡るツアーが企画されていますが、周遊ルート上には、渋滞や頻発する通行規制などの課題があり、これらの解消が求められています。



拠点間の交流・連携

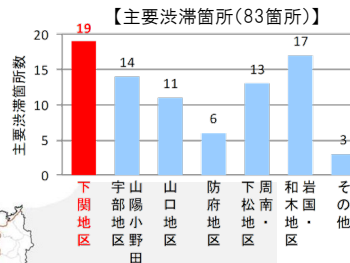
北部地域は、市街地部からのアクセスに支障があることから、地域内の交流・連携を支える道路の整備が期待されています。

市役所等から30分で到達できないエリアがある




市街地の慢性的な渋滞

主要渋滞箇所数が19箇所と県内最多であり、主要渋滞箇所における損失時間では、上位10箇所のうち7箇所が存在しています。下関港や周辺工場からICへのアクセス経路に主要渋滞箇所が集中し、円滑な物流に支障をきたしており、これらの渋滞の解消が課題となっています。



地域	主要渋滞箇所数
下関地区	19
宇部地区	14
山口地区	11
防府地区	6
下松地区	13
和木地区	17
岩国地区	3
その他	3



【凡例】
 - 高速道路
 - 一般国道
 - 県道
 ● 主要渋滞箇所



北浦街道豊北
依山北
道の駅 豊街道西ノ市
豊北総合支所
豊田総合支所
豊浦総合支所
きくがわ
菊川総合支所
美祿市役所
山陽総合事務所
小野田
小野田市役所
下関市役所
下関港
臨海部の工業エリア


角島灯台公園
しおかぜの里 角島
一の俣温泉
川棚温泉
リフレッシュパーク豊浦
本州最西端の地 毘沙ノ鼻
長州出島
海峽ゆめタワー(海峡メッセ下関)
巖流島
しものせき水族館海響館
赤間神宮
火の山公園

【国道2号】
【国道9号】

県内共通 交通事故発生件数

下関地域では年間800件の事故が発生しており、交通安全対策を推進する必要があります。

【交通事故発生件数】




下関地域
山口・防府地域
周南地域
宇部・小野田地域
岩国地域
柳井地域
萩地域
長門地域

交通事故発生件数が県内で一番多い

資料:交通統計 令和元年(山口県警察本部)


県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。このため、唯一の陸上交通手段である角島大橋や拠点間連携に寄与している滝橋などの適切な対策が必要です。



県内共通 災害等による通行止め

下関市長府～壇之浦地区は、国際航路(関内航路)に面し、臨海部に多数の工場、事業所、住宅等が立地していますが、近年、台風の来襲による高潮・越波等により大きな被害が頻発しています。また、当地域における主要幹線道路の国道9号も越波により度々通行規制を余儀なくされています。このため、こうした災害時や異常気象時等にも機能する信頼性の高い道路網の構築が求められています。



県内共通 大規模地震時の耐震性

大規模地震時の緊急輸送路を確保するためには、緊急輸送道路上の橋梁や離島架橋等の耐震補強を推進する必要があります。



2 主な整備箇所(地域版)

6 下関地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

I 産業・地域を『支える』

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

6-a	山陰道
6-b	下関北九州道路
6-c	下関西道路
6-d	国道2号
6-e	都計道幡生綾羅木線

等

II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- すべてのひとが安心して移動できる歩行者空間の確保

6-f	国道435号
6-g	国道191号

等

III 災害に『備える』

- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強
- 電線の無電柱化

6-h	県道豊浦清末線
	県道下関美祢線

等

IV 未来に『つなぐ』

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

	県道福浦港金比羅線
	県道下関長門線

等

※その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 無電柱化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ

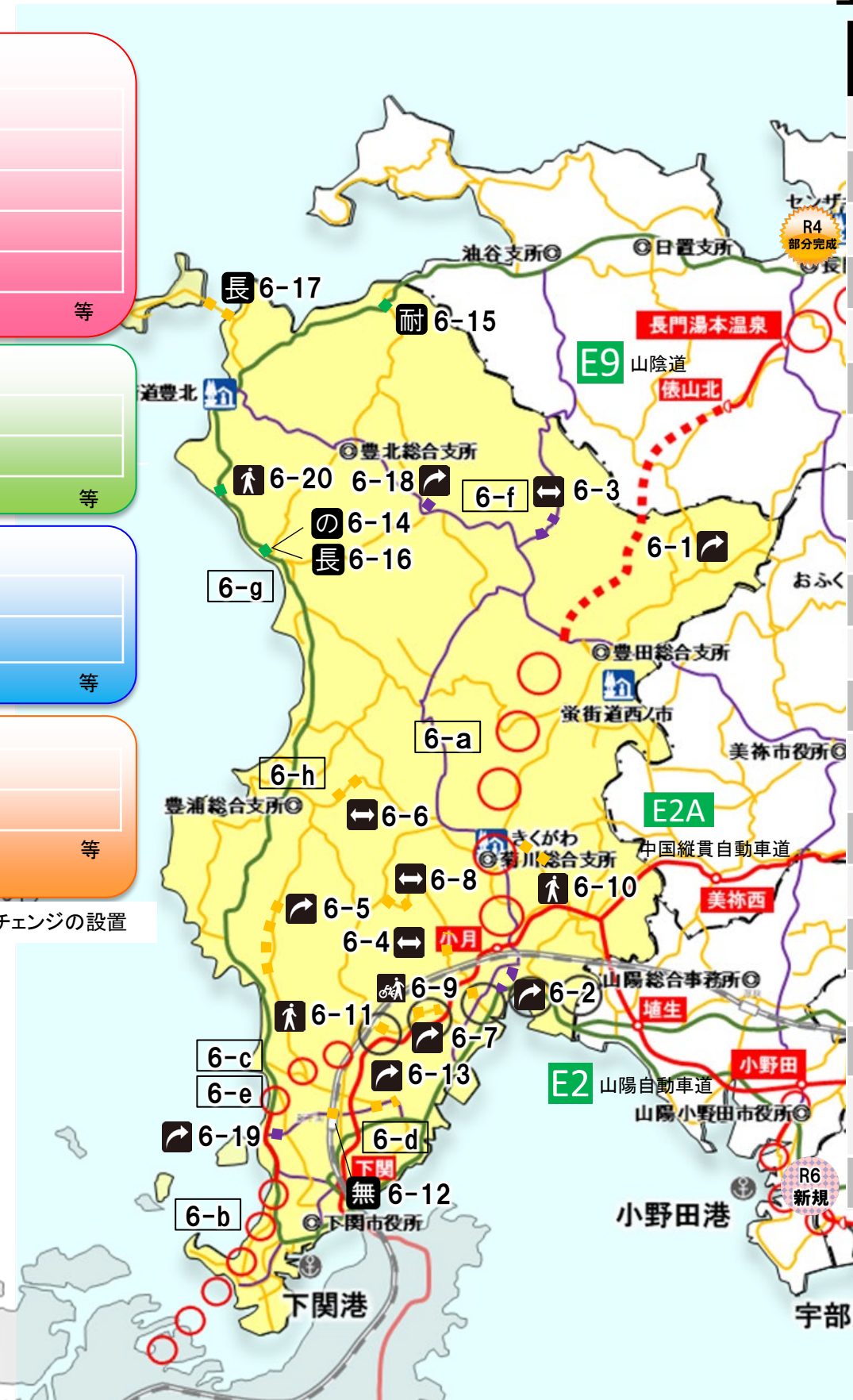
道の駅

市役所等

主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
6-1	山陰道 (依山・豊田道路)	バイパス	事業継続	●	●	●	
6-2	国道491号 (下小月バイパス)	バイパス	事業継続	●		●	
6-3	国道491号 (一ノ俣拡幅)	現道拡幅	部分完成 (R4)	●	●	●	
6-4	県道豊浦清末線 (阿内)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
6-5	県道下関川棚線 (吉見)	バイパス	事業継続	●	●	●	
6-6	県道豊浦久野線 (久野)	現道拡幅	事業継続	●		●	
6-7	県道下関美祢線 (員光)	バイパス	事業継続	●	●	●	
6-8	県道豊浦清末線 (内日下)	現道拡幅	事業継続	●		●	
6-9	県道豊浦清末線 (清末)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	
6-10	県道美祢菊川線 (下保木～上保木)	歩道整備	完成 (R6)	●	●	●	
6-11	県道下関美祢線 (井田)	歩道整備	事業継続	●	●	●	
6-12	県道新下関停車場線 (秋根本町)	無電柱化	事業継続		●	●	
6-13	都計道長府綾羅木線 (田倉～勝谷)	バイパス	事業継続	●	●	●	
6-14	国道191号 (神田上)	のり面対策	事業継続			●	
6-15	国道191号 (栗野橋)	耐震化	事業継続			●	
6-16	国道191号 (津波敷トンネル)	長寿命化	事業継続			●	●
6-17	県道角島神田線 (角島大橋)	長寿命化	事業継続			●	●
6-18	国道435号 (田耕)	バイパス	事業継続	●	●	●	
6-19	都計道幡生綾羅木線 (垢田～綾羅木本町)	バイパス	事業継続	●	●	●	
6-20	国道191号 (矢玉)	歩道整備	事業継続	●	●	●	

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。



2 主な整備箇所(地域版)

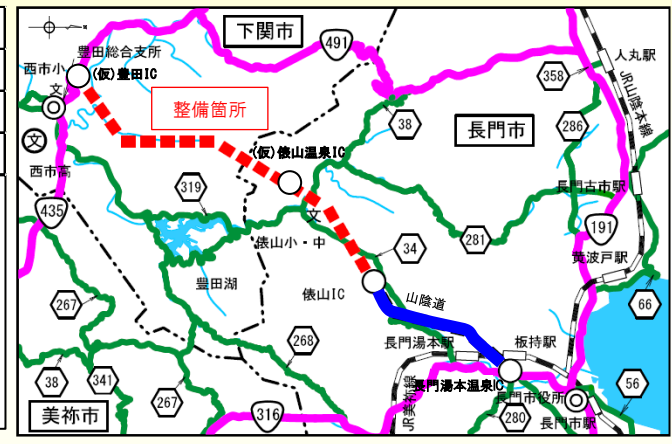
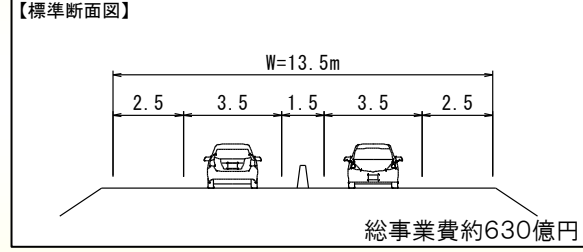
6 下関地域の主な整備中箇所

6-1 491 山陰道(俵山・豊田道路)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=13.9km
● 幅員	W=12.0~13.5m
● 着手年度	平成28年度



目的(効果)

- ◆ 地域の産業・観光振興の支援や、安心・安全を確保するため、交流人口の拡大や、物流の効率化等に資するとともに、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
- ◆ 第3次救急医療機関(下関市・宇部市)への速達性、確実性を確保します。



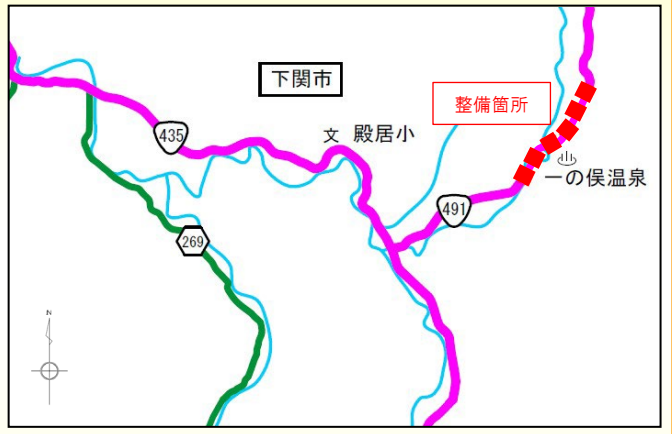
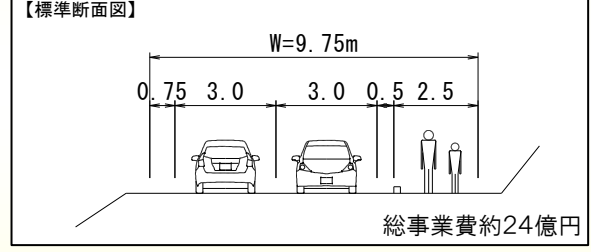
6-3 491 国道491号(一ノ俣拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.4km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成19年度

R4 部分完成



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 一の俣温泉へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

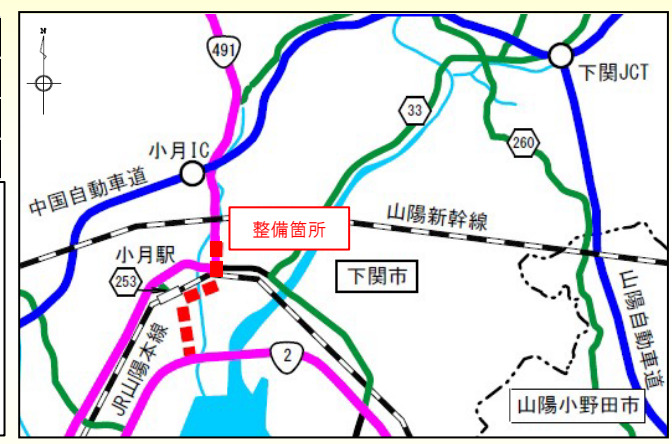
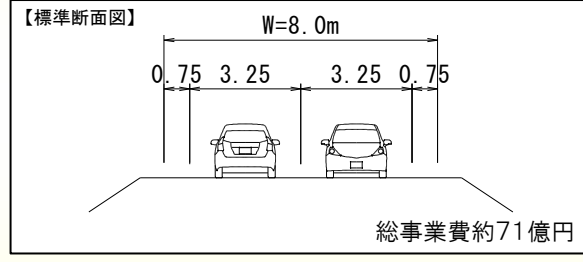


6-2 491 国道491号(下小月バイパス)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=1.7km
● 幅員	W=8.0m
● 着手年度	平成25年度



目的(効果)

- ◆ 下関市東部地域における渋滞を緩和します。
- ◆ 中国自動車道小月ICへのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

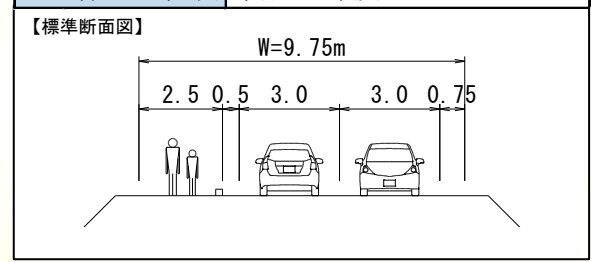


6-4 40 県道豊浦清末線(阿内)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.3km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成27年度



目的(効果)

- ◆ 大型車のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道2号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

6 下関地域の主な整備中箇所

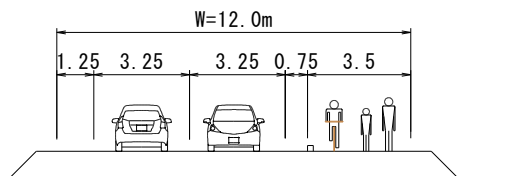
6-5 県道244 下関川棚線(吉見)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=4.8km
● 幅員	W=12.0m
● 着手年度	平成13年度

【標準断面図】



総事業費約43億円



目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しの悪い箇所を解消します。
- ◆ 川棚温泉へのアクセス性を向上します。
- ◆ 旧豊浦町から下関市街地へのアクセス性を向上します。



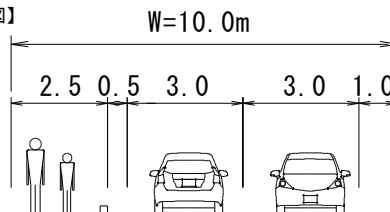
6-7 県道33 下関美祢線(員光)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.5km
● 幅員	W=10.0m
● 着手年度	令和3年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しの悪い箇所を解消します。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



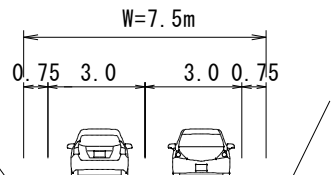
6-6 県道261 豊浦久野線(久野)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.0km
● 幅員	W=7.5m
● 着手年度	平成28年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所や見通しの悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



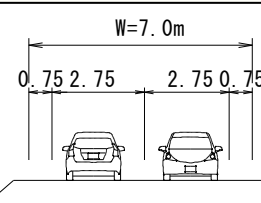
6-8 県道40 豊浦清未線(内日下)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

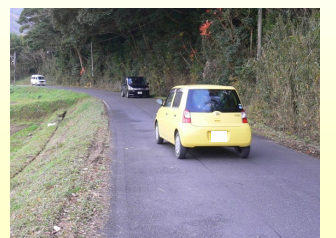
● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.5km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成28年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 小月ICへのアクセス性を向上します。



2 主な整備箇所(地域版)

6 下関地域の主な整備中箇所

6-9 県道豊浦清末線(清末)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

- 内容 自歩道整備
- 延長 L=0.4km
- 幅員 W=14.0m
- 着手年度 令和元年度

【標準断面図】

W=14.0m

3.5 0.5 3.0 3.0 0.5 3.5

総事業費約3億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



6-11 県道下関美祢線(井田)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

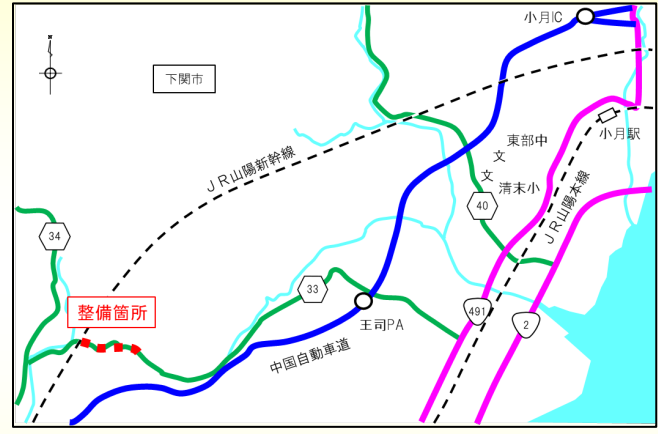
概要

- 内容 歩道整備
- 延長 L=1.0km
- 幅員 W=9.75m
- 着手年度 令和元年度

【標準断面図】

W=9.75m

2.5 0.5 3.0 3.0 0.75



目的(効果)

- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 線形を改良し、安全で円滑な交通を確保します。



6-10 県道美祢菊川線(下保木～上保木)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

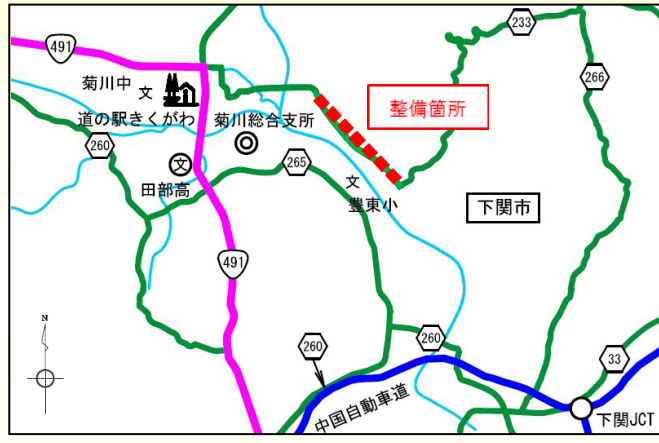
- 内容 歩道整備
- 延長 L=1.4km
- 幅員 W=9.75m
- 着手年度 平成28年度

【標準断面図】

W=9.75m

0.75 3.0 3.0 0.5 2.5

総事業費約4億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 線形を改良し、安全で円滑な交通を確保します。



6-12 県道新下関停車場線(秋根本町)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

- 内容 無電柱化
- 整備延長 L=0.82km
- 幅員 W=32.0m
- 着手年度 平成30年度

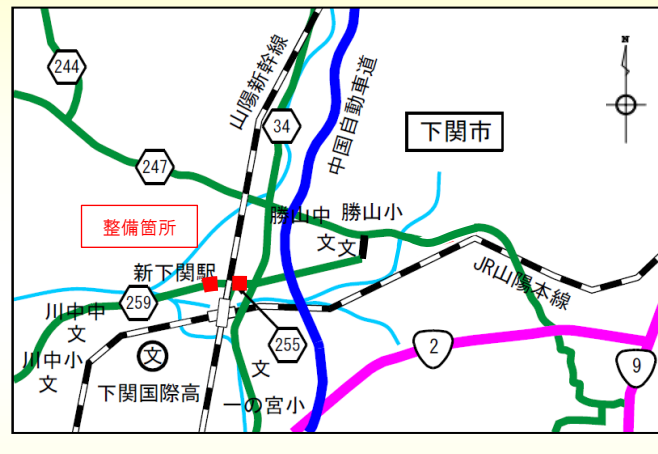
【標準断面図】

W=32.0m

5.0 1.8 6.95 4.5 6.95 1.8 5.0

電線共同溝

総事業費約5億円



目的(効果)

- ◆ 良好な景観を形成します。
- ◆ 安全で快適な歩行空間を確保します。
- ◆ 都市防災機能の向上を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

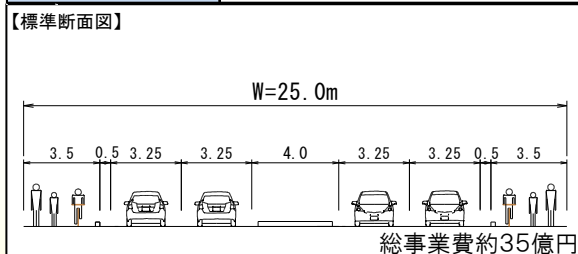
6 下関地域の主な整備中箇所

6-13 都計道長府綾羅木線(田倉～勝谷) 〈**255** 県道田倉新下関停車場線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	バイパス
● 延 長	L=1.2km
● 幅 員	W=25.0m
● 着手年度	平成27年度



目的(効果)

- ◆ JR新下関駅と長府地区を直結するとともに、秋根北町交差点に集中する交通を分散し、円滑な交通を確保します。
- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

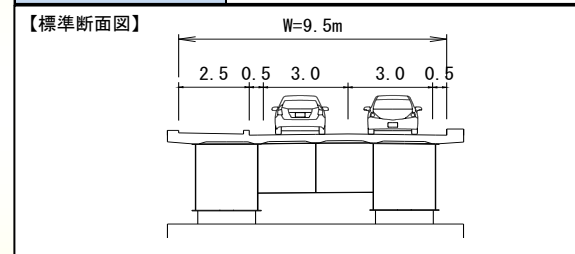


6-15 **191** 国道191号(栗野橋)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	耐震化
● 延 長	L=0.11km
● 幅 員	W=9.5m
● 着手年度	平成28年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

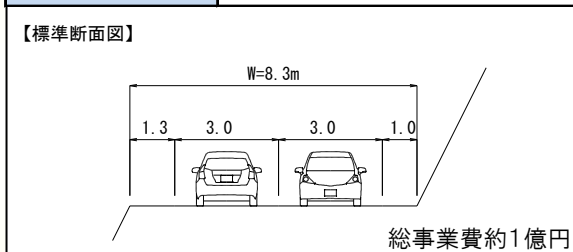


6-14 **191** 国道191号(神田上)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	のり面対策
● 延 長	L=0.8km
● 幅 員	W=8.3m
● 着手年度	平成17年度



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。

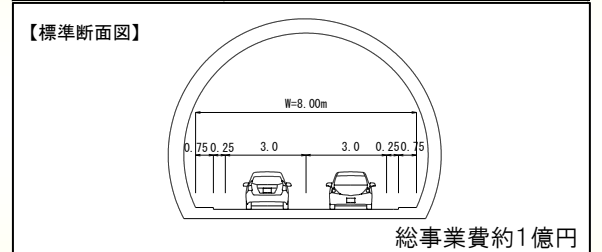


6-16 **191** 国道191号(津波敷トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	長寿命化
● 延 長	L=0.18km
● 幅 員	W=8.0m
● 着手年度	平成30年度



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

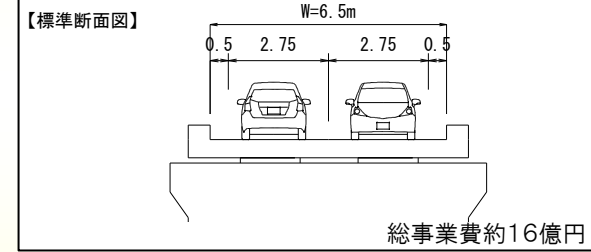
6 下関地域の主な整備中箇所

6-17 276 県道角島神田線(角島大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=1.8km
● 幅員	W=6.5m
● 着手年度	平成25年度



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

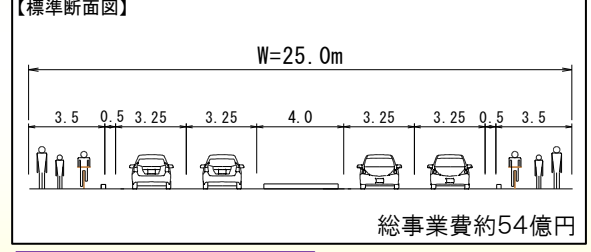
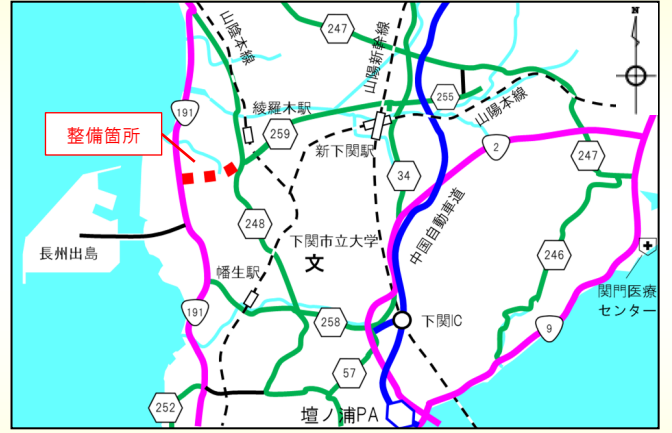


6-19 都計道幡生綾羅木線(垢田～綾羅木本町) <259 県道新下関停車場線>

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=1.1km
● 幅員	W=25.0m
● 着手年度	令和4年度



目的(効果)

- ◆ 下関市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

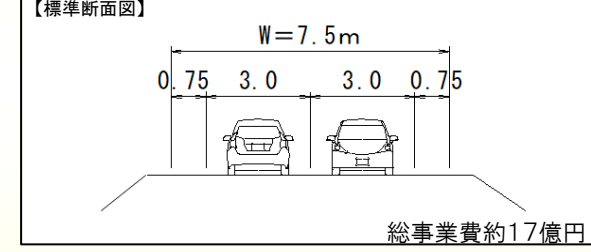


6-18 435 国道435号(田耕)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=7.5m
● 着手年度	令和4年度



目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しの悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



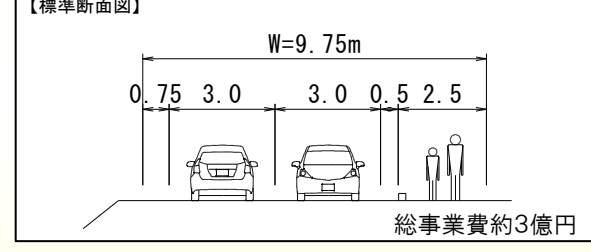
6-20 191 国道191号(矢玉)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	令和6年度

R6 新規



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。

